

# 平成26年度 事業報告書

## 社会福祉法人 幸寿会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）  
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）  
深谷市デイサービスセンター清風苑  
清風苑在宅介護支援センター  
グループホームすずかけ  
生計困難者に対する相談支援事業

〒369-1105

埼玉県深谷市本田 4915 番地 1

TEL 048 - 583 - 5555

FAX 048 - 583 - 7257

E-mail [seifuuen@cello.ocn.jp](mailto:seifuuen@cello.ocn.jp)

URL <http://seifuuen.com/>

\*\*\* 目 次 \*\*\*

はじめに・運営の理念・事業方針	2
平成26年度の主な庶務事項	3
特別養護老人ホーム清風苑 (介護老人福祉施設) (介護予防)短期入所生活介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	7
深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防)通所介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	17
清風苑在宅介護支援センター (居宅介護支援事業者) 深谷市在宅介護支援センター清風苑 (在宅介護支援センター) 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 業務報告、利用者状況	23
グループホームすずかけ 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	28
生計困難者に対する相談支援事業 総評、相談状況、研修・会議の参加状況	34
事務 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	36
給食 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	37

## はじめに

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」が第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）からはじまりました。大里広域地区の人口減は既にはじまり、一方、高齢化率は25%を越えました。平成27年度からは第6期となりますが、今後、行政サービス維持も厳しいとされるなか、セーフティネットの一部を担う社会福祉法人の役割もさらに重要になっていくものと思われまます。

さて、平成26年度の事業をふりかえりますと、当年度も人材確保に苦労した年でした。しかし、経験者や未経験職員であっても介護の就業意欲にあふれた優秀な人材に恵まれ、前向きなチームワークが向上されております。年度末には各事業の満足度調査も実施し、改善に向けた取り組みもはじめています。また、平成25年度清風苑にて策定したBCP（災害時事業継続計画）は法人全体として検討し、法人各事業所全体が連携するBCPが策定されて運用しています。法人運営では、会計処理方法を新会計基準に移行して収支バランスと今後の法人施設継続のための資金確保として積立処理を実施しました。さらにデイサービス土地建物について深谷市と協議を重ね、法人移管への道筋が確認されました。

現在、国で検討されている社会福祉法人制度改革に関連し、平成26年9月から展開する「生計困難者相談支援事業（彩の国あんしんセーフティネット）」も地域の社会福祉法人としての役割のひとつと考えております。今後も、微力ではありますが努力してまいります。

## 運営の理念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし

地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者に明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

## 事業方針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

## 平成 26 年度の主な庶務事項

- 26. 4. 1 辞令交付式
- 4. 1 施設賠償責任保険更新(あいおい損害保険(株))
- 4. 1 退職手当共済H26 年度掛け金納付対象職員提出 13 名(福祉医療機構)
- 4. 1 浴槽ろ過装置保守管理契約締結(デイ:(有)アクアテック)
- 4. 1 掃除・洗濯・夜間施設管理請負契約締結(清風苑:深谷市シルバー)
- 4. 1 夜間施設管理請負契約締結(清風苑:寄居町シルバー)
- 4. 1 広報「清風」第 14 号発行
- 4. 2 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 4. 2 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(夜勤職員配置加算)  
(特養:北部福祉)
- 4. 8 介護職員処遇改善加算変更届提出(特養、短期、デイ:北部福祉)
- 4. 9 介護職員処遇改善加算変更届提出(すずかけ:大里広域)
- 4. 9 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出
- 4. 5 すずかけ運営推進会議
- 4.11 誘導灯交換(清風苑:(株)吉田電気工事: 円)
- 4.14 建物外周砕石敷き込み工事(すずかけ:(株)久保田工業: 円)
- 4.15 全国老人ホーム基礎調査(デイ)回答(全国老人福祉施設協議会)
- 4.16 障害者雇用に関するアンケート回答(ハローワーク熊谷)
- 4.16 カーテン保守契約締結(清風苑:(株)キングラン商事)
- 4.10 特別養護老人ホームの入所希望者に係る調査回答(県高齢介護課)
- 4.26 老人福祉施設指導台帳提出(県監査課)
- 5. 1 社会福祉施設従事者相互保険更新手続(福祉振興・試験センター)
- 5. 9 転倒骨折事故報告書提出(デイ:北部福祉・深谷市)
- 5. 9 転倒骨折事故再発防止策報告書提出(デイ:北部福祉・深谷市)
- 5. 9 インフルエンザ事故報告書提出(清風苑:北部福祉・深谷市)
- 5. 9 インフルエンザ事故再発防止策報告書提出(清風苑:北部福祉・深谷市)
- 5.14 監事会開催
- 5.11 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ:(株)ビルワーク)
- 5.14 消防設備等(総合:清風苑)(機能:デイ・すずかけ)定期点検実施(株)ビルワーク)
- 5.19 軽自動車税減免申請(深谷市:26.6.16 減免決定通知)
- 5.26 デイサービス空調設備更新共同募金要望書提出(埼玉県共同募金会)
- 5.15 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(特養(看護体制加算):北部福祉)
- 5.20 舗装目地補修工事(清風苑・デイ:(株)久保田工業: 円)
- 5.24 第 46 回評議員会(事業報告、決算報告、デイサービス入浴設備更新、  
指導監査の結果報告)
- 5.24 第 99 回理事会(事業報告、決算報告、デイサービス入浴設備更新、  
指導監査の結果報告)
- 5.26 資産の変更登記申請完了(さいたま地方法務局)
- 5.27 公益法人の収支計算書(平成 25 年度)の提出書提出(熊谷税務署)
- 5.27 自動車税減免申請(埼玉県自動車県税事務所:26.9.1 県税減免通知)
- 5.27 外部評価の実施回数の緩和に係る申請提出(すずかけ:大里広域)
- 5.29 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム(株))
- 6.10 循環ろ過式一般浴槽保守点検実施(デイ:(有)アクアテック)
- 6.13 労働保険概算確定保険料申告書提出(熊谷労基署)
- 6. 5 汚水処理汚泥移送タイマー交換工事(清風苑:エコサービス(株): 円)
- 6. 6 地下タンク A 重油槽定期加圧漏えい検査及び清掃実施(タンクサービス工業)
- 6.11 支援事務所移設電気工事(支援:(株)吉田電気工事: 円)
- 6.12 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出 47 名(埼玉県社会福祉事業共助会)

- 6.16 自動車保険更新(富士火災海上保険株)： 円)
- 6.16 浴槽水の水質検査(清風苑・デイ：株)熊谷環境分析センター)
- 6.2 高齢者雇用状況報告書提出(ハローワーク熊谷)
- 6.11 利用者健診(特養・すずかけ：深谷大里郡メヂカルセンター)
- 6.18 総合防災訓練(全事業)深谷市消防本部立合指導
- 6.24 自家用電気工作物の年次検査実施(日本電気保安サービス協会)
- 6.26 専用区画変更届提出(支援センター：北部福祉)
- 6.26 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(特養(看護体制加算)：北部福祉)
- 6.26 すずかけ運営推進会議
- 7.1 転倒骨折事故報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 7.1 転倒骨折事故再発防止策報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 7.3 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 7.9 健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.7 社会福祉法人現況報告書、監査報告書提出(深谷市福祉政策課)
- 7.7 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出(清風苑・デイ：熊谷保健所)
- 7.7 経済センサス基礎調査回答(総務省：経済産業省)
- 7.8 定期健康診断報告書提出(清風苑入所者：熊谷保健所)
- 7.9 平成25年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出  
(特養・短期・デイ：県北部福祉事務所)
- 7.9 平成25年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出(すずかけ：大里広域)
- 7.11 特別養護老人ホームを運営している社会福祉法人の調査回答(清風苑：深谷市)
- 7.10~29 職員定期健康診断
- 7.13 登録喫煙吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出  
(清風苑：県高齢介護課)
- 7.22 健康保険厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.26 第47回評議員会(運営状況報告、職員人事、デイサービスセンターの管理、  
彩の国あんしんセーフティーネット、資産登記完了報告、高額取引業者の選定)
- 7.26 第100回理事会(運営状況報告、職員人事、デイサービスセンターの管理、  
彩の国あんしんセーフティーネット、資産登記完了報告、高額取引業者の選定)
- 7.26 役員合同暑気払い会(埼玉グランドホテル深谷)
- 7.22 介護老人福祉施設平成25年度収支状況等調査回答(全国老人福祉施設協議会)
- 7.25 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(特養(看護体制加算)：北部福祉)
- 7.25 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出  
(すずかけ(医療連携体制加算)：大里広域)
- 7.31 多様な働き方実践企業認定申請書提出(埼玉県北部地域振興センター)
- 7.31 平成26年度助成要望事業(空調設備更新)に対する調査(デイ：県共同募金会)
- 8.1 リネンサプライ契約締結(清風苑・デイ：東京リハビリ)
- 8.1 広報「清風」第15号発行
- 8.6 福祉避難所の状況調査回答(深谷市長寿福祉課)
- 8.18 平成26年度埼玉県就労実態調査提出(県産業労働部)
- 8.22 共助会標準報酬基礎届提出(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 8.29 食器消毒保管庫更新(清風苑：株)トータルサポート： 円)
- 9.1 第二種社会福祉事業(生計困難者に対する相談支援事業)開始届提出(県社会福祉課)
- 9.9 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム株)
- 9.14 すずかけ運営推進会議
- 9.20 建物火災保険更新(すずかけ：埼玉北部農業共済組合 円)
- 10.1 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 10.3 平成26年医療施設静態調査提出(熊谷保健所)
- 10.3 くるりんバス停留所登録申請書提出(深谷市)
- 10.25 一般浴槽更新(デイ：ヤジマメンテナンス： 円)

- 11. 5 受変電設備改修工事(清風苑：(株)吉田電気工事： 円)
- 11. 8 第 48 回評議員会(デイサービスセンターの移管、規程の制定と改正・規則の改正  
清風苑施設改築、報告事項)
- 11. 8 第 101 回理事会デイサービスセンターの移管、規程の制定と改正・規則の改正  
清風苑施設改築、報告事項)
- 10.11 オレンジ棟エアコン修理(清風苑：ヤジマメンテナンス： 円)
- 10.11 ボイラー室換気扇交換、配管修理(清風苑：ヤジマメンテナンス： 円)
- 10.16 多様な働き方実践企業認定(埼玉県)
- 10.20 平成 26 年介護サービス施設・事業所調査回答(すずかけ：厚労省)
- 10.20 平成 26 年介護サービス施設・事業所調査回答(デイ：厚労省)
- 10.20 平成 26 年介護サービス施設・事業所調査回答(特養、短期、支援：厚労省)
- 10.20 平成 26 年介護老人福祉施設票回答(特養：厚労省)
- 10.30 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出  
(清風苑：県高齢介護課)
- 10.30 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出(特養(看護体制加算)：北部福祉)
- 10.30 すずかけ運営推進会議
- 11. 4 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出  
(すずかけ(医療連携体制加算)：大里広域)
- 11. 6 特別養護老人ホーム利用者の負担段階別状況等回答(清風苑：県高齢介護課)
- 11.12 消防設備等(総合：デイ・すずかけ)(機能：清風苑)定期点検実施：(株)ビルワーク)
- 11.13 浄化槽定期清掃実施(小嶋衛生社)
- 11.23 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ：(株)ビルワーク)
- 11.26 職員定期健康診断(深谷大里郡メヂカルセンター)
- 12. 1 広報「清風」第 16 号発行
- 12. 6 職員忘年会(栄寿司)
- 12. 7 受水槽定期清掃(清風苑・(株)ビルワーク)
- 12. 9 転倒骨折事故報告書提出(清風苑：北部福祉事務所、深谷市)
- 12. 9 転倒骨折事故再発防止策報告書提出(清風苑：北部福祉事務所、深谷市)
- 12.10 防災訓練(全事業合同：夜間地震想定通報訓練)
- 12.10 介護サービスの情報の公表報告(特養、短期、デイ、居宅介護支援、  
認知症対応型共同生活介護)
- 12.11 ボイラー室換気扇交換、汚物室ドアノブ、トアクローザ交換  
(清風苑：(株)久保田工業： 円)
- 12.15 認定特定行為業務従事者認定証(経過措置)変更届書提出  
(清風苑 2 名：県高齢介護課)
- 12.18 健康保険厚生年金被保険者賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 12.20 すずかけ運営推進会議
- 12.21 受水槽定期清掃(デイ：(株)ビルワーク)
- 12.26 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム(株))
- 27. 1. 5 湯呑、コップ更新(清風苑：東海興商(株)： 円)
- 1. 7 浄化槽法定検査実施(埼玉県浄化槽協会)
- 1. 7 給与支払報告書提出 78 名(13 市町村提出)
- 1. 8 源泉徴収票提出 12 名(熊谷税務署)
- 1. 8 定期健康診断報告書提出(法人全体：熊谷保健所)
- 1. 8 医師・歯科医師・薬剤師及び保健師等医療従事者届出提出(熊谷保健所)
- 1. 8 特別養護老人ホームの保険者別入所者等に係る調査提出(清風苑：県高齢介護課)
- 1. 8 平成 26 年度医療機能情報定期報告提出(熊谷保健所)
- 1.10 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 1.20 新館エアコン修理(清風苑：ヤジマメンテナンス： 円)
- 1.21 洗濯機更新(すずかけ：矢田電機商会： 円)

- 2. 1 厨房給湯器更新(デイ：川本ガス事業協同組合： 円)
- 2. 1 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出  
(清風苑：県高齢介護課)
- 2. 1 清風苑食器洗浄機保守契約締結(ホシザキ北関東株： 円)
- 2. 2 認定特定行為業務従事者認定証変更届出書提出(清風苑：県高齢介護課)
- 2. 3 洗面水栓交換(すずかけ：株久保田工業： 円)
- 2. 4 介護職員への資格手当の支給状況等回答(県高齢介護課)
- 2. 5 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出  
(清風苑：県高齢介護課)
- 2. 7 社会福祉施設指導監査(書面監査)書類提出(県福祉監査課)
- 2.13 インフルエンザ事故報告書提出(清風苑：北部福祉・深谷市)
- 2.13 インフルエンザ事故再発防止策報告書提出(清風苑：北部福祉・深谷市)
- 2.17 ポケットベル受信機更新(清風苑：日本テクニカルサービス株： 円)
- 2.23 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)
- 3.14 すずかけ運営推進会議
- 3.14 防災訓練(すずかけ)
- 3. 3 洗面台水栓交換修理(すずかけ：ヤジマメンテナンス： 円)
- 3. 3 建物火災地震保険更新(清風苑：あいおい損害保険株： 円)
- 3. 5 駐車場土留め・芝張り工事(デイ：木本林業株： 円)
- 3.17 ビンク棟トイレ漏水修理(清風苑：ヤジマメンテナンス： 円)
- 3.28 第 49 回評議員会  
(補正予算、事業計画、予算、デイ空調設備更新、高額取引業者の選定、報告事項)
- 3.28 第 102 回理事会  
(補正予算、事業計画、予算、デイ空調設備更新、高額取引業者の選定、報告事項)
- 3.26 3 6 協定届(熊谷労基署)
- 3.27 自動火災報知機予備バッテリー交換(すずかけ：ビルワーク： 円)
- 3.27 デイサービス空調設備更新共同募金助成決定(県共同募金会)

**特別養護老人ホーム清風苑**  
**(介護老人福祉施設)**  
**((介護予防)短期入所生活介護)**

**1. 総評**

今年度は、吸引・経管栄養をより安全に実施するため、看護への業務移行に着手し、今まで以上に、看護・介護の情報共有、連携により、統一された支援を実施することが出来るようになりました。喀痰吸引についても、安全に実施できるよう月に一度の勉強会を行い、重症度の高い利用者にも、支援提供が行えました。また、認知症高齢者を理解・受容するため、より具体的で、多角的に認知症についての話し合いを行うため、研修会にも積極的に参加しました。職員の認知症高齢者への意識改善により、何気ない一言の重要性を意識できるようになり、清風苑の雰囲気もより明るく穏やかになったと実感しています。反面、今年はインフルエンザを最も拡大させてしまった年でもありました。来年度は、発生時のサービス提供を始め、具体的な対策を計画します。

**2. 業務目標・各会議・委員会報告**

**【チームワークで気づきの支援】**

1. ケース担当の充実 ~ 「気づき」の姿勢で寄り添った支援を行ないます。
2. 介護・看護・相談の情報共有 ~ 連携を強化し、より統一された体制づくりに努めます。
  - ・利用者の日常生活を充実させるため、問題点に気づき、ケース担当を中心に各職種が協働し、対応策を検討・実施するという体制作りが確立出来ました。

**【事故防止委員会】**

事故防止・・・転倒・剥離・服薬ミスに重点を置き、声掛けに加え、介助方法の統一を目指し対応一覧表を作成し、再発防止に努め、二桁あった事故件数を一桁に減少することができました。

身体拘束廃止・・・職種間で協力し、見守り出来る時間を確保し、拘束時間を短縮するなど、本人に負担の少ない解除方法を優先的に検討・導入し、5件 1件に減らす事が出来ました。

**【広報委員会】**

広報誌の定期発行(清風苑ニュース：毎月)(清風：年3回)を継続し、施設活動や生活の様子を紹介しました。

**【業務改善委員会】**

接遇向上への取り組みとして、利用者の生活の場であることを意識した言動を心掛けるよう発信しました。挨拶や介助前の声掛けなど、定着してきたと感じています。

**【環境・余暇委員会】**

環境・・・居室のベッド周りを中心に意識してもらえるよう促し、きれいな状態に保つ事ができました。定期的なエリア掃除を実施することが出来なかったため、年度末に大掃除を行いました。

余暇・・・レクカレンダーの作成により、スムーズにレクを行うことが出来ました。

**【ショートステイ】**

利用者状況がひと目で分かるようアセスメントシートの見直しを行いました。併せて、衣類チェック表の見直しを行い、省力化することが出来ました。



### 3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 26. 5. 8 公開講座「認知症について～BPSDを理解する」  
（小川赤十字病院：、）
- 5.23 特養集団指導（県福祉監査課：）
- 5.30 事故等緊急時対応研修（施設内研修：参加者12名）
- 6.19 公開講座「認知症～BPSDの対応」（小川赤十字病院：、）
- 6.30 食中毒について（施設内研修：参加者16名）
- 7. 3 接遇研修会（施設内研修：参加者32名）
- 7.10 公開講座「摂食・嚥下障害とは～お年寄りが誤嚥性肺炎を起こしやすい訳」  
（小川赤十字病院：、、）
- 7.15 摂食・嚥下リハビリテーション（県社協：）
- 7.28、8.1 初任者研修（県社協：）
- 8.27、28 初任者研修（県社協：）
- 8.21 公開講座「誤嚥性肺炎のポイント～その食事介助で大丈夫？」  
（小川赤十字病院：、、、）
- 8.29 褥瘡予防と対策について（施設内研修：参加者13名）
- 9. 3 結核関連研修会（熊谷保健所：）
- 9.26 身体拘束廃止について（施設内研修：11名）
- 9.29 看護職員研修（県老施協：）
- 10. 9 公開講座「褥瘡のアセスメント・治療およびケア」  
（小川赤十字病院：、）
- 10.17 介護支援専門員ステップアップ研修（県社協：）
- 10.31 ノロウィルス（施設内研修：14名）
- 10.24 感染研修会（熊谷保健所：）
- 10.31 養介護施設等の職員向け高齢者虐待防止研修（県高齢課：）
- 11.13 公開講座「感染対策の基礎」（小川赤十字：、）
- 11.18 施設ボランティア受け入れ担当者実践研修（県社協：）
- 11.28 インフルエンザ感染症（施設内研修：15名）
- 12. 2 多職種チームケア研修会（県老施協：）
- 12.10 福祉サービス苦情解決（県社協：）
- 12.22 プレゼンテーション研修（県社協：）
- 12.26 事故防止研修（施設内研修：13名）
- 27. 2.19 介護保険施設等口腔ケア研修会（県高齢課：）
- 2.12 介護職員施設間交流研修（県社協：）
- 2.27 高齢者虐待防止研修（施設内研修：17名）
- 3.12 介護職員施設間交流研修（県社協：）
- 3. 2 福祉職員のためのターミナルケア（県社協：）
- 3.13 多職種チームケア（県老施協：、）
- 3.27 ターミナルケアについて（施設内研修：14名）

#### 4. 研修・実習受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
平成26年8月30~9月28日	かな福祉専門学校	2	23
11月10~14日	実践女子大学	1	5
合計		3	28

#### 5. ボランティア受入

月	団体		個人		合計		活動団体 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	【深谷市】 川本中学校 川本南保育園 住山理容所 いなほ会 彩の国中学生ふれあい 介護 コーラスさくらそう ブルーアイランダース ともちゃんバンド
5	2	33	2	5	4	38	
6	0	0	1	3	1	3	
7	1	2	1	3	2	5	
8	2	3	1	3	3	6	
9	2	14	1	3	3	17	
10	1	3	1	2	2	5	
11	1	11	3	5	4	16	
12	2	20	1	3	3	23	
1	0	0	0	0	0	0	
2	1	3	1	3	2	6	
3	1	3	2	4	3	7	
計	13	92	14	34	27	126	

6. 年間行事 ( )は参加者数

月	内 容
4	お花見会 (59) 誕生会 (66)
5	開園記念日 : 5/1 (67) 日帰り旅行 : 川の博物館 (4) 南保育園交流会 (71) 誕生会 (55) 日帰り旅行 : アリオ (8)
6	誕生会 (54)
7	七夕会 (65) 誕生会 (46)
8	深谷市花火大会見学 (14) 夏祭り (66) 清風苑花火大会 (72) 誕生会 (59)
9	長寿をお祝いする会 (118) 誕生会 (42)
10	饅頭作り (37) 誕生会 (50) 福祉の市 (6) 福祉の心を育む懇話会 (4)
11	やきいも (15) 日帰り旅行 : サファリパーク (11) 福祉の心を育む懇話会 (14) 誕生会 (54)
12	餅つき (63) 忘年会 (77) 誕生会・クリスマス会 (41)
1	書初め (23) 初詣 (13) 新年会 (64) 誕生会 (52)
2	節分 (52) 誕生会 (53)
3	ひなまつり (32) 誕生会 (62) 日帰り旅行 : 森林公園 (6)
毎月	誕生会

## 7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 環境・余暇委員会
5	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 広報委員会 ケース会議 ショート受入会議
6	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 総合防災訓練（地域・地震・避難・消火）
7	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 業務改善委員会
8	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 環境・余暇委員会
9	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 業務改善委員会
10	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 業務改善委員会
11	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 業務改善委員会
12	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 広報委員会 業務改善委員会 ショート受入会議
1	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議
2	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 業務改善委員会 ショート受入会議 環境・余暇委員会
3	特養会議 特養運営会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入会議 環境・余暇委員会

## 8 . 利用者状況

(1) 利用者定員及び現在員状況 ( ) は再掲：緊急措置入居

定員 50名 現在員 50名 (男性 12名 女性 38名)

(2) 利用者年齢別状況 ( ) は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	95 ~ 99	100 ~ 104	計
男性	0	1	2	1	4	1	3	0	0	12
女性	1	1	2	1	3	11	13	5	1	38
計	1	2	4	2	7	12	16	5	1	50

\* 最高年齢 男性 93歳 1ヶ月 女性 102歳 4ヶ月

\* 最若年齢 男性 65歳 3ヶ月 女性 57歳 9ヶ月

\* 平均年齢 男性 81歳 8ヶ月 女性 87歳 6ヶ月 総平均 86歳 2ヶ月

(3) 利用期間 (平成 27年 4月 1日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6ヵ月未満	2	9	11	9年~10年未満	0	0	0
6ヵ月~1年未満	2	3	5	10年~11年未満	0	0	0
1年~2年未満	2	4	6	11年~12年未満	0	0	0
2年~3年未満	2	8	10	12年~13年未満	0	1	1
3年~4年未満	0	3	3	13年~15年未満	0	0	0
4年~5年未満	2	2	4	15年~17年未満	1	0	1
5年~6年未満	1	3	4	17年~19年未満	0	0	0
6年~7年未満	0	1	1	19年~21年未満	0	1	1
7年~8年未満	0	2	2				
8年~9年未満	0	1	1	合計	12	38	50

最短利用期間 0ヵ月間

最長利用期間 20年 0ヵ月間

平均利用期間 3年 4ヶ月間

(4) 要介護度 (平成 27年 4月 1日現在)

\* 平均介護度 4.2

要介護区分	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	2	3	2	5	12
女性	0	1	6	9	22	38
計	0	3	9	11	27	50

(5) 入所申込状況 (入所検討委員会) ( ) は見直し

	A	B	C	D	計
平成26年6月	1(0)	1(1)	4(1)	0	6(1)
6月	0	1(1)	2(1)	1	4(2)
7月	2	0	1	0	3
8月	1(1)	0(1)	0	0	1(2)
9月	0	0(1)	1	0	1(1)
10月	0	0	1	0	1
11月	0	0	1	0	1
平成27年1月	2	1(2)	2	0	5(2)
2月	3	1	1	0	5
3月	0(1)	2	1	0	3(1)
合計	9(4)	6(5)	14(2)	1	30(9)
27年4月1日待機者	9	14	23	2	48

(6) 月別利用者状況 ( ) は再掲：緊急措置入居 年間利用率 96.9%

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数 (在籍)A	50	48	49	48	49	50	49	48	48	48	47	49	
月中新利用者数 B	0	2	1	2	1	0	2	3	3	2	2	1	19
月中退所者数 C	2	1	2	1	0	1	3	3	3	3	0	0	19
月中入院者数 D	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	1	0	
月末入院者数 E	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	
月末日利用者(実 数)F=A+B-C	48	49	48	49	50	49	48	48	48	47	49	50	
延べ利用者数	1,492	1,454	1,472	1,536	1,513	1,469	1,485	1,418	1,476	1,482	1,336	1,547	17,680

(7) 市町村別入退所者状況 ( )は再掲：緊急措置入居 (平成27年4月1日現在)

市町村	平成27年4月1日			平成26年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院延数	入所者数	退所者数	
深谷市	7	17	24	61	11	13	(入) 5/24、6/7 7/2、7/6 10/21 10/23 11/18、11/30、 2/6、 1/17、3/4  (退) 5/5、7/23 9/29、10/6、 10/14 10/28、 11/11 11/14、11/15 12/9、1/11 1/20、1/31  (院) 7/7-7/31 7/9-7/23 11/12-11/15 12/2-12/9 1/27-2/4
熊谷市	3	3	6	27	4	3	(入) 5/17、12/27 1/22、2/28  (退) 4/22、6/17 12/9  (院) 11/13-12/9
寄居町	0	5	5	0	3	2	(入) 8/7、11/6 2/10  (退) 4/30 12/9 J
さいたま市	1	0	1	0	1	0	(退) 6/21
計	11	25	36	88	19	18	

(8) 利用者の身体状況 (平成27年4月1日現在)

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利用者状況					
				移動介助	11	16	23	使用機種	車イス 34名、リフト 8名、歩行器 3名
食事介助	27	8	15	食事場所	食堂 46名、居室 4名 (内、経管者 4名)				
排泄介助	11	16	23	おむつ使用者数	人数	定時	随時		
				常時の者	28	4回	8回以上		
				夜間のみ者	11	2回	4回以上		
入浴介助	8	10	32	使用浴槽	一般浴 7名・器械浴 35名・リフト浴 8名				
着替介助	10	11	29	毎日着替	要介助 0名、自力 0名				
体位交換介助	15	16	19	介助者の状況	人数	定時	随時		
				褥瘡者	4	13回	13回以上		
				その他	33	13回			
障害老人の日常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
	0	0	1	5	6	5	25	2	6

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数								
意思疎通不能者数	12	原因疾患	機能的障害 12名、精神的障害 36名							
認知性老人者数	48	認知症度数	重度 38名、中度 7名、軽度 3名							
認知症老人の日常生活自立度	自立		a	b	a	b		M		
	2	3	2	5	17	13	8	0		

(9) 常食給与栄養摂取量 (1人平均)

種目	エネルギー - kcal	タンパク質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1日必要摂取量	1,450	40.0	36.3	500	5.0	450	0.80	1.00	85	9.0
4月	1,469	56.5	36.9	416	7.0	608	0.73	0.78	86	8.7
5月	1,476	55.8	36.8	402	7.4	621	0.74	0.73	96	8.9
6月	1,466	57.6	35.9	406	7.4	589	0.78	0.77	114	9.0
7月	1,485	57.6	37.0	458	7.4	613	0.76	0.79	105	8.9
8月	1,475	56.3	37.4	461	7.4	608	0.77	0.74	110	8.9
9月	1,504	58.3	38.6	441	7.4	617	0.80	0.77	119	9.2
10月	1,480	57.6	37.2	466	7.4	584	0.74	0.80	122	9.0
11月	1,475	56.3	37.5	461	7.4	615	0.77	0.74	127	9.0
12月	1,466	57.7	36.1	466	7.4	620	0.75	0.76	132	9.0
1月	1,465	58.2	35.6	460	7.4	626	0.71	0.77	108	9.0
2月	1,451	56.1	35.8	449	7.2	658	0.72	0.72	109	9.0
3月	1,453	56.5	32.8	433	7.1	575	0.61	0.75	114	9.0
平均	1472.1	57.0	36.5	443.3	7.3	611.2	0.74	0.76	111.8	9.0



(10) 短期入所生活介護事業実績 : ( ) は予防介護の再掲 \* 1日平均利用率 8.0人

区	深谷市		小川町 嵐山町		寄居町 美里町		熊谷市		合 計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	13	191	1	8	5	59			19	258
5	15(1)	210(4)	1	4	5	65			21	279(5)
6	20(1)	190(4)	1	8	5	82			26	280(4)
7	20(1)	198(5)	1	5	3	56			24	259(5)
8	19	195	2	7	3	56			24	258
9	19(1)	189(5)	3	20	4	56			26	265(5)
10	23(2)	201(9)	3	21	4	59			30	281(9)
11	20(1)	202(5)	4	27	3	55			27	284(5)
12	21(3)	174(3)	3	13	3	56			27	243(3)
1	8	76	2	6	4	48			14	130
2	12	83	4	24	4	60	1	7	21	174
3	17(1)	97(5)	4	29	6	72	1	15	28	213(5)
計	207 (11)	2,006 (40)	29	172	49	724	2	22	287	2,924 (40)

## 深谷市デイサービスセンター清風苑 ((介護予防)通所介護)

### 1. 総評

居宅介護支援事業所の月1回の訪問も定着し、居宅との連携が図れるようになってまいりました。新規利用者の紹介も、各居宅より依頼が増えていきました。一昨年度見られた利用率の大幅な落ち込みはなかったものの、11月から2月の冬季にかけてやや利用者数減少がみられました。新規依頼者や曜日追加も、この時期は依頼が少なくなりつつある傾向がみられ、利用者数維持が難しい状況がみられるため、追加希望者へ随時連絡し柔軟に利用していただけるよう取り組みました。

処遇においては、職員の定着も図られ、介護サービスに影響なく取り組めたと思います。リハビリ分野ではセラバンド、平行棒の活用、上下肢の体操など取り入れ、身体機能の維持を目的とした取り組みを行ないました。余暇時間の満足においては、クラブ活動が挙げられますが、様々な内容のものをご用意し、作品を埼玉県老人ホーム入園者作品展に出品することも出来、やりがいのある活動となりました。しかし、クラブ活動=工作活動といった内容に偏りがちであった為、内容拡充が今後の課題だと感じました。

満足度調査より、細かい意見やご希望も伺うことが出来ました。これらを検証し、平成27年度への取り組みに反映させたいと考えました。

### 2. 業務目標、各会議・各委員会報告

#### (1) 業務目標報告

「職員のスキルアップを目指し、個別援助の充実と利用者満足を満たす」

職員のスキルアップについては、介護福祉士資格保有者による介護技術講習(オムツ交換)実践者研修参加者による認知症の勉強会を開催し、日常業務に直結する課題を勉強会形式にて改善、実践することが出来ました。

個別援助の充実については、利用者のニーズを実際のサービスに活かすきれない現状が見られました。原因としては介護の業務に重きを置き、利用者のレクリエーションやクラブ活動が画一的になってしまったからです。しかし行事や外出等では、非日常的な内容を提供出来たことで、「デイサービスを利用して良かったから来た、外出に行くことが出来た」などの声が多く聞かれ、利用者の満足へと繋がられました。

#### (2) 各会議報告(デイサービス会議・ケース会議)

デイサービス会議においては、計画書の確認、行事の検討を含め、積極的な話し合いが通年実施できました。

ケース会議においては、計画書を職員全員に配布、計画書の熟読作業、内容の把握、日中の様子などを検討しました。排泄時の声掛けの方法、身体の負担を考慮した3分間半身浴対応、認知症の方に安心される声掛け等をより明確に記載することが出来、介護の統一化を図ることが出来ました。

#### (3) 委員会報告

安全対策委員会においては、安全運転10か条や助手の心得を策定し、送迎時における注意喚起を行ないました。各送迎車に常備することで、送迎前の確認を経てから業務に携わることが出来、非常に効果的でした。

接遇検討委員会では、デイサービスにおける接遇のマニュアルを作成し、全職員で周知を図りました。身だしなみや言葉遣いは、マニュアル通りに統一が出来ず、成果があげられませんでした。反対に、介助時によく用いられる「ちょっと待って」という声掛けは、廃止運動を導入したことで減少傾向にあり、一定の成果があげられました。

マニュアルに基づいた接遇の統一化を図るべく、デイサービス会議内及び職員面接時に検証していきます。また、マニュアルの内容も随時検証していきます。

### 3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者））

26. 5.22 平成 26 年度集団指導（県福祉監査課： ）  
 7.13 地域ケアサポート研修（深谷市社会福祉協議会： ）  
 9.20 埼玉県老人ホーム入園者作品展（埼玉県老人福祉施設協議会： ）  
 9.25 他施設見学（あねとすトレーニングデイ： ・ ）
- 9.24 9.25 9.26 11.6 11.7 11.11 11.12 11.13 11.28 12.19  
 認知症介護実践者研修（埼玉県： ）

### 4. 研修・実習受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
7/31～8/1	川本中学校社会体験チャレンジ	4	2
8/30～9/2	かな福祉専門学校	2	3
9/19	川本中学校総合学習	4	1
合計		10	6

### 5. ボランティア受入

月	団体		個人		合計		活動団体 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	1	4	0	0	1	4	【団体】 朗読クラブひまわり ロゴス腹話術 ふれあい マリコ組 バイオリンと歌の会 川本南小学校 川本中学校
5	2	19	0	0	2	19	
6	1	4	0	0	1	4	
7	1	4	0	0	1	4	
8	1	4	0	0	1	4	
9	3	8	2	8	5	16	
10	1	4	0	0	1	4	
11	1	4	0	0	1	4	
12	3	22	1	7	4	29	
1	1	4	0	0	1	4	
2	1	4	0	0	1	4	
3	1	3	0	0	1	3	
計	17	84	3	15	20	99	

6. 年間行事 ( )は参加者数

月	内 容
4	いちご狩り外出(28)
5	いちご狩り外出(6)
6	料理レク(餃子の皮ピザ作り:25)
7	料理レク(餃子の皮ピザ作り:26) 夏季限定ドリンクバー
8	流しそうめん(25) 夏季限定ドリンクバー
9	敬老会 9/8~9/13 6日間(158) ロゴス腹話術 ふれあい 尺八演奏 まぎー英司
10	高坂SA外出(41)
11	ヴァイオリンボランティア(26)
12	忘年会 12/23~12/27 5日間(123) ヴァイオリンと歌 尺八演奏 マリコ組
1	書き初め 1/5~1/10(133)
2	節分豆まき(26) バレンタインチョコケーキ作り(23)
3	よもぎ饅頭作り(10) じゃがいも植え(5)
毎月	朗読クラブ

## 7. 業務報告

月	内 容
4	クラブ活動内容検討
5	接遇推進「印象・コミュニケーション」
6	介護技術講習（排泄介助：オムツ交換） 総合防災訓練（地震・非難・消火）
7	共同募金調査（空調設備）
8	安全対策「安全運転 10 か条」「助手の心得」策定・運用開始
9	接遇マニュアル策定・運用開始 埼玉県老人ホーム入園者作品展・作品出品
10	介護者教室参加 クラブ活動内容検討
11	認知症介護勉強会 共同募金監査（機械浴槽）
12	接遇推進「ちょっとまって廃止運動」開始 夜間通報訓練
1	安全対策「安全な排泄介助」策定・運用開始 デイサービス満足度調査実施
2	デイサービス満足度調査集計・まとめ クラブ活動内容検討
3	介護者教室参加 新タイムテーブルに基づく介護業務開始
毎月	ケース会議・給食会議・運営会議 安全対策委員会・接遇検討委員会 デイサービス会議

## 8. 利用者状況

平成 26 年度に関する以外は、平成 27 年 4 月 1 日現在にて表示

### (1) 利用者数

登録者 71 名 (男性 12 名、女性 59 名)

### (2) 利用者年齢別状況

年齢	~ 59	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100 ~	計
男性	1	0	0	0	3	2	3	3	0	0	12
女性	0	0	0	1	5	12	21	17	3	0	59
計	1	0	0	1	8	14	24	20	3	0	71

### (3) 要介護度

平均支援度 1.8 平均介護度 2.8

区分	自立	支援	支援	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	0	0	3	5	1	2	1	12
女性	0	9	8	11	14	9	6	2	59
計	0	9	8	14	19	10	8	3	71

### (4) 利用事由 (重複あり)

	男性	女性	計
日中独居	4	27	31
家庭での入浴困難	7	31	38
独り暮らし	0	6	6
他者との交流	5	26	31
介護者の負担軽減	6	15	21
心身の機能維持	5	24	29
認知症の進行予防	3	21	24
計	30	150	180

### (5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	3	2	2	3	1	1	1	4	0	3	3	3	26
終了	2	0	3	4	0	0	3	3	1	1	2	1	20

(6) 月間利用実績  
(前期) 4月～9月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
登録者数	70	71	72	71	70	71	-
延利用者数	652	677	659	712	656	684	4,040
(予 防)	47	55	61	69	63	61	356
(介 護)	605	622	598	643	593	623	3,684
運営日数	26	27	25	27	26	26	157
1日平均利用者数	25.1	25.1	26.4	26.4	25.2	26.3	-
昼食提供数	650	670	657	708	650	677	4,012
送迎回数	1,292	1,328	1,312	1,414	1,310	1,366	8,022
一般浴回数	566	579	561	617	555	580	3,458
機械浴回数	43	51	49	53	44	51	291

(後期) 10月～3月

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
登録者数	72	70	71	70	72	74	-
延利用者数	648	590	598	572	597	637	7,682
(予 防)	60	61	64	64	64	76	745
(介 護)	588	529	534	508	533	561	6,937
運営日数	27	25	24	24	24	26	307
1日平均利用者数	24.0	23.6	24.9	23.8	24.9	24.5	25.0
昼食提供数	641	579	591	563	588	627	7,601
送迎回数	1,284	1,164	1,190	1,118	1,186	1,272	15,236
一般浴回数	546	494	511	507	530	566	6,612
機械浴回数	56	55	46	47	45	51	591

(7) 地域別登録者

地区	深 谷 市									熊谷	寄居	計
	本田	畠山	田中	長在	瀬山	菅沼	上原	黒田	永田			
男	5	4	1	0	0	0	1	0	0	0	1	12
女	27	17	2	4	1	2	0	1	1	1	3	59
計	32	21	3	4	1	2	1	1	1	1	4	71

**清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者）**  
**深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）**

**1. 総評**

利用者の話に耳を傾け、ご家族の意向を尊重し進めています。家族都合を多く話される方もいますが、その中でも信頼関係を重視した支援ができるようになってきました。在宅サービスでは平成24年度より定期巡回型訪問介護看護のサービス追加で、新しいニーズが生み出せるか様子を見ておりましたが特に変化はなく、在宅介護はデイサービスを中心に回っているため、その中でもご家族の都合でショートステイの臨時利用、家族負担軽減のため定期利用をされる方もあります。家族の都合を多く引き出すのではなく、本人のご意向も尊重できるそんな支援の形も見えています。リハビリテーションでは通所だけの選択ではなく、昨年度から訪問リハビリの提案もできることで在宅でのニーズが増えつつあります。

業務内容については、年間計画に沿って取り組み、まず介護教室を年3回やるという強い意志を持って取り組んだ結果、回数を重ねるごとに参加者が増えており、地域の皆さまの理解が浸透していている様子も見られています。在宅介護を行っていくうえで家族介護力は不可欠であることはいうまでもありませんが、言葉では得られない実践を私たちも同時に、在宅介護の生の声や情報を得る機会になっています。

専門性の向上については、事業所内事例検討会を行うことで他職員の意見をいただきながらも困難事例に対して進めていくことや、事例を振り返る機会になったことが大きな収穫でした。ただし少し控えめな状況であることは否めないため、来年度は他事業所ケアマネを招いて、現場に立っているケアマネの意見を貰いながらも、緊張感を持って進めていけるような取り組みを考えております。

その他、パンフレットの内容を変更し、より見やすいものに変更できたことや主治医との連携を継続することで、医療と介護との状況を見ながら支援ができたことは大きな力になっています。ポスティング業務については、調整がつかず引き伸ばしになっていることが挙げられているため、来年度より年2回に分け対応し、引き続き地域に寄りそう事業所として地域貢献を考え介護支援を実践していきます。

**2. 業務目標・各会議・委員会報告**

**(1) 業務目標**

『地域社会に根ざした利用者支援を実践する』

困難事例について、独居の方や認知症利用者の突発的に起こる緊急事態に対し、利用者の安全を第一に考え判断できるよう支援を行ってきました。

介護支援専門員として、利用者本人・家族の状況把握や必要とされるサービス事業所との連携を早急に進めなければなりません。緊急性が高まることにより介護支援専門員の視野も狭くなりサービス調整が滞ってしまう危険性も感じました。このような事態に陥らないよう今後も処遇困難事例については、事業所内で事例検討会を定期的開催し、職員間での報告・連絡・相談をスムーズに行い、緊急時等においても視野を広く、落ち着いてご家族対応ができるように個々のレベルアップと共に事業所内の連携強化にも努めていきます。

民生委員、地域包括支援センターとの関わりを継続し、在宅で安心して過ごせるような支援体制確保しています。民生委員情報を戴ける関係を保ち、早期発見・早期対応に役立て今後も各関係各所の方との関係強化に取り組んでいきます。



パンフレットの配置や介護教室を中心とした地域福祉業務についても、年3回の開催を実現しました。教室への認知度が上がっていくことや情報となるものが目のつきやすい所にあることで、地道な活動ではありますが、これにより毎年数件の相談も上がっています。また、介護教室は在宅介護を実施している方やそれを希望している方々へ側面からの支援として地域への発信の場となり、地域住民との関係づくりの場にもなりました。在宅介護支援センターとしても地域住民と深く繋がりを持ち、敷居の低い環境を作り気軽に相談できる環境と関係を今後も構築していきます。

定例会議、内部研修の強化、外部研修への参加の継続をおこないました。これにより、各職員のレベルアップ～事業所のレベルアップにつながりました。今後も質の向上につながるよう、各会議・各研修へ積極的に参加していきます。

## (2) 各会議

### 事業所内全体会議

会議を開催することで周知した運営を継続することができました。少しずつですが、職員が自主的に参加する意欲が見られるようになってきました。

### 主治医との会議

月に一度、先生とのやりとりで地域の情報を受けことや、担当している利用者の情報を共有することで、連携を図りながら支援を進めることができました。進捗を追いながら先生との連携支援ができたのは、幸寿会ならではのシステムと捕らえています。引き続き他にはない体制を生かして、支援を継続していきます。

### 事業所内事例検討会

事例検討を通して、多角的な視点を入れ継続支援ができるように個々気付けるような雰囲気が出てきました。同じような視点ではレベルアップに繋がらないと判断したため、事業所内に留まらず他の事業所ケアマネと一緒に検討できるよう調整していく予定です。

## 3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 26. 4.16 深谷市南地区介護支援専門員交流会  
(大里広域地域包括支援センターふじさわ苑: )
- 5.8 公開講座「認知症について」(小川赤十字病院: )
- 5.20 集団指導(県福祉課: )
- 5.21 深谷市介護支援専門員連絡協議会( )
- 6.11 熊谷市介護支援専門員連絡協議会( )
- 7.3 施設内研修会接遇、話し方について( )
- 7.15 深谷市介護支援専門員連絡協議会( )
- 7.24 埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修(県社協: )
- 7.31 地域ケアサポート連絡会  
(大里広域地域包括支援センター深谷市社会福祉協議会: )
- 9.10 白澤政和先生特別講演会(エフビー介護サービス: )
- 9.16 深谷市介護支援専門員連絡協議会( )
- 9.25、10.6、10.31 平成26年介護支援専門員専門研修(県社協: )
- 10.16 ケアマネ支援研修会  
(大里広域地域包括支援センター深谷市社会福祉協議会: )
- 11.4 神経難病のリハビリテーション(埼玉県難病医療連絡協議会: )
- 11.18 在宅医療・介護連携推進研修会(埼玉県北部福祉事務所: )
- 11.21 深谷市介護支援専門員連絡協議会( )
- 11.29 第4回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修(県社協: )
- 12.10 平成26年度苦情解決セミナー(県社協: )

- 12.18 事業所内認知症研修（ 、 、 、 ）  
 27. 1.17、1.20、1.22、1.24、2.3、2.10、2.17、2.18、2.24、3.1、3.17、3.21  
 平成26年主任介護支援専門員研修（埼玉県介護支援専門員協会： ）  
 3.17 深谷市介護支援専門員連絡協議会（ 、 、 、 ）

#### 4. 業務報告

##### (1) 家族介護教室開催

- 日 時 平成26年7月2日(水) 14時から15時30まで  
 開催場所 清風苑在宅介護支援センター  
 参加人数 18名  
 参加者詳細 利用者家族7名  
 地域包括支援センターふじさわ苑 3名  
 エフビー介護サービス・パラマウントベッド職員4名  
 支援職員4名  
 「実践介護教室」  
 講師 デイリハセンターうちりハ深谷  
 所長 理学療法士 真下 和貴氏
- 日 時 平成26年11月8日(土) 13時30から15時まで  
 開催場所 深谷市もくせい館2階研修室  
 参加人数 24名  
 参加者詳細 利用者家族15名  
 ヘルスケア上武・パラマウントベッド職員2名  
 支援・特養・デイ職員7名  
 「分かりやすい排泄介助について」  
 講師 深谷市デイサービスセンター清風苑  
 生活相談員 坂野 圭介
- 日 時 平成27年3月29日(日) 14時から15時30まで  
 開催場所 深谷市デイサービスセンター清風苑  
 参加人数 24名  
 参加者詳細 利用者家族16名  
 ヤマシタコーポレーション職員2名  
 支援・デイ職員6名  
 「在宅での入浴介助について」  
 講師 深谷市デイサービスセンター清風苑  
 生活相談員 新井 勇輝・坂野 圭介

## 5. 利用者状況

### (1) 相談・新規居宅依頼・終了者の状況

(入院者は除く)

月	相談件数	居宅依頼総数	居宅終了者
4月	8件	4件(男性2名・女性2名)	3名
5月	2件	2件(男性1名・女性2名)	1名
6月	7件	7件(男性4名・女性3名)	1名
7月	4件	1件(男性1名・女性0名)	3名
8月	4件	0件(男性0名・女性0名)	1名
9月	8件	3件(男性2名・女性1名)	1名
10月	1件	1件(男性0名・女性1名)	1名
11月	7件	6件(男性3名・女性3名)	2名
12月	7件	1件(男性1名・女性0名)	3名
1月	6件	2件(男性0名・女性2名)	2名
2月	6件	2件(男性1名・女性1名)	2名
3月	7件	3件(男性1名・女性2名)	3名

平成27年3月31日現在

### (2) 年間居宅請求数

(月遅れ請求者も含む)

	介護給付	予防給付	認定調査
4月	86件	19件	13件
5月	87件	20件	16件
6月	88件	21件	16件
7月	87件	22件	19件
8月	86件	24件	8件
9月	87件	23件	15件
10月	87件	23件	12件
11月	92件	24件	12件
12月	95件	24件	16件
1月	92件	23件	13件
2月	94件	24件	18件
3月	93件	25件	19件
合計	1,074件	272件	177件

平成27年3月31日現在

## (3) 利用者年齢別状況

区分	2号 被保険者		1号被保険者								合計
	60歳 未満	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳～	
男性	2	1	1	4	4	8	8	3	2	0	33
女性	2	0	1	3	11	22	27	13	6	1	86
合計	4	1	2	7	15	30	35	16	8	1	119

平成27年3月31日現在

## (4) 月別・介護度別利用者数（暫定利用者含む）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	8	8	10	11	12	11	12	11	11	11	13	12	130
支2	14	13	13	13	14	14	14	15	15	14	16	16	171
介1	32	32	30	30	29	33	31	33	36	36	34	34	390
介2	23	23	23	21	24	23	23	24	25	23	23	24	279
介3	16	16	17	18	16	16	14	13	15	13	15	16	185
介4	11	10	12	9	9	9	8	13	9	9	13	11	123
介5	4	6	6	9	9	8	11	9	10	10	8	7	97
合計	108	108	111	111	113	114	113	118	121	116	122	120	1,375

## (5) 介護度別・サービス種別利用者数（一部重複者あり）

区分	訪問 介護	訪問 看護	訪問 入浴	訪問 リハ	通所 介護	通所 リハ	短期 介護	短期 療養	福祉 用具	合計
支1	1	1	0	0	8	0	0	0	2	12
支2	3	0	0	0	9	0	0	0	10	22
介1	7	3	1	0	25	6	0	0	13	55
介2	0	0	0	0	19	3	4	0	14	40
介3	2	3	1	0	11	1	2	0	9	29
介4	0	0	1	0	8	0	4	0	9	22
介5	2	2	0	0	3	0	3	0	4	14
合計	15	9	3	0	83	10	13	0	61	194

平成27年3月31日現在

## グループホームすずかけ ((介護予防)認知症対応型共同生活介護)

### 1. 総評

グループホームすずかけは、平成27年度10年目を迎えます。昨年同様、認知症の方が家庭的な雰囲気の中で共同生活をし、個々に合った自立した生活を送ることが出来るよう支援を行なって来ました。生活していく中での衛生面は確立、維持、見直しをして来ました。利用者様の生活の向上では、職員の退職や新しい職員の入職が決まらず、職員体制が整いませんでした。日常生活の支援ばかりになってしまい、生活の質の向上まで行き届かなかったのが現状でした。その中でも法人内の協力を得ながら計画に沿った中身の濃い行事が出来ました。接遇については、良い方向に向いては来ていますが、来年度も改善を継続していきます。今後も質の良い満足して頂ける施設作りに取り組んでいきます。

### 2. 業務目標・各会議・委員会報告

#### (1) 業務目標報告

生活の質の向上

##### ・モニタリング・アセスメント

各ケースを毎月の定例会議にて確認、統一した介護サービスの提供をして来ました。

##### ・記録をしっかりとつける

個人記録の書式の改善を行ないました。必要事項と様子の経過などは職員間での情報の共有ができました。そこから次に繋げる支援ができているのか課題が見えてきました。

##### ・身体的支援・精神的支援(認知症状)

ケアプランの活用について、まだ課題となる事が多々残りますが、27年度もケアプランを活用し支援を行なって行きます。認知症の方のBPSDの理解と対応については、困難なことも実践しながら職員間で話し合いを繰り返し、理解を深めていきました。27年度の支援にも繋げて行きます。

事故をなくす

安全対策委員会で、再発防止策を挙げ周知して再発防止に取り組みました。大きな事故に繋がることはありませんでしたが、同じ方の転倒を何度も繰り返してしまう事故がありました。来年度はヒヤリはつとを活用し、多くの気づきで職員間で周知し事故防止に役立てていきます。

地域とのかかわり

平成26年度も引き続き保育園、小学校の行事に参加させていただき、散歩途中の挨拶からの会話など子供達との交流の場を設けました。地域清掃活動行事の参加は職員の勤務を合わせ参加することが出来ました。近隣の方々への「すずかけ新聞」の配布は停滞してしまいましたが、来年度は定期的に配布出来るようにして行きます。そして、地域の方からの声掛けで芋ほり、大根ほり等を行うことができ、旬の物をいち早く差し入れていただき味わうことが出来ました。

#### (2) 各会議報告

グループホーム会議

毎月1回の実施をし、各会議と委員会の報告検討とケースの確認を行って来きました。変則勤務の中で一堂に会す機会としての意識統一と意見交換の場としてはとても有効でした。会議資料配布を事前に配布することや、ケース確認は担当者が事前に記入することで会議時間を円滑に進められるようになって来きました。

運営推進会議

平成26年度も基準どおりに年6回の開催を行事の参加にあわせて実施する事ができました。26年度から行政の出席が必須となりましたが、土曜日の開催は行政の出席が出来ず、ご家族は平日の出席が難しく、行事に併せての開催を重視して来ました。年6回

の開催が実施出来たので、平成26年度の外部評価は免除になりましたが、自己点検は継続します。

(3) 各委員会報告

安全対策委員会

会議の中で、事故報告とヒヤリはっとの再発防止策を挙げ周知し、再発防止に取り組み大きな事故に繋がることはありませんでした。転倒を防ぐ試みとして、足腰を鍛えようと長い廊下を活用した「わくわくウォーキング」を始めました。

衛生管理生活向上委員会

衛生管理については、中身を見直しながら継続しています。生活向上では、月間の催しは計画通りに進める事ができ、計画外の外出についても人数体制、他部署の協力を得て進めることが出来ました。27年度は行事、イベントはもちろんですが、利用者様の生活の質の向上を重点に考え、今後の課題にして行きます。

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 26. 6.15 記念講演会(県グループホーム協会: )
- 6.25 感染症基礎研修(県社協: )
- 7. 3 接遇セミナー(施設内研修:参加者5名)
- 7.24 BCP(事業継続計画)研修(県社協: )
- 12.10 福祉サービス苦情解決セミナー(県社協・埼玉県運営適正化委員会: )
- 27. 1.16 終末期までの高齢者の食事について(県グループホーム協会: )
- 2.12 介護職員施設間交流研修(県社協: )

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
平成26年5月26日	グループホームくまがや倶楽部	1	1
26年8月30,31日 9月2日	かなな福祉専門学校	2	3
合計		3	4

5. ボランティア受入

月	団体		個人		合計		活動団体 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	1	7	1	1	2	8	【深谷市】 埼玉すみれの会 コーラスさくらそう、 いなほ会 川本南小学校 川本中学校 <個人> 【深谷市】 様 【寄居町】 様
5	2	59	1	1	3	60	
6	0	0	1	1	1	1	
7	1	2	1	1	2	3	
8	0	0	1	1	1	1	
9	1	6	1	1	2	7	
10	0	0	1	1	1	1	
11	0	0	2	2	2	2	
12	2	18	1	1	3	19	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	1	1	1	1	
3	0	0	2	2	2	2	
計	7	92	13	13	20	105	

6. 年間行事 ( )は参加者数

月	内 容
4	4/5 お花見会 (33)・第26回運営推進会議 (12) 4/10 ヨーカドー外出、外食 (8) 4/16 お花見ドライブ、外食 (6)
5	5/19 苺狩り外出 (16)
6	6/5 外出・外食 (赤岩の渡し・道の駅妻沼) (12) 6/18 総合防災訓練 6/26 第27回運営推進会議 (9)
7	7/7 セタまんじゅう作り (12) 7/19 流しそうめん (13)
8	8/16 花火大会 (11) 8/19 流しそうめん (12)
9	9/8 ぶどう狩り (14) 9/8 十五夜・9/9 まんじゅう作り (13) 9/9 重陽の節句 9/14 長寿会 (15)・第28回運営推進会議 (11) 9/26 お花見ドライブ (彼岸花) (14)
10	10/17 十三夜まんじゅう作り (13) 10/30 運動会 (12) 10/30 第29回運営推進会議 (11)
11	11/14 外出・外食 (菊展見学・道の駅花園) (14)
12	12/10 夜間通報訓練 12/20 忘年会 (31)・第30回運営推進会議 (14) 12/24 クリスマス会 (13)
1	1/5 初詣 (勝福寺) (11)
2	2/3 節分
3	3/3 ひな祭り 3/13 外食 (はま寿司) (11) 3/14 防災訓練・第31回運営推進会議 (10)
毎月	誕生会

## 7. 業務報告

月	内 容
4	4/10 衛生管理生活向上委員会、4/14 安全対策委員会、4/17 床ワックス 4/21 グループホーム会議
5	5/6 出張美容、5/6 衛生管理生活向上委員会 5/12 安全対策委員会、5/14 消防設備点検 5/19 グループホーム会議
6	6/3 安全対策委員会、6/12 衛生管理生活向上委員会 6/16 出張美容、6/11 利用者健康診断 6/25 グループホーム会議
7	7/2 安全対策委員会 7/7 衛生管理生活向上委員会 7/23 グループホーム会議
8	空床状況、すずかけニュース送付 8/6 安全対策委員会、8/12 出張美容、8/14 衛生管理生活向上委員会 8/19 居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話 8/29 床ワックス、8/27 グループホーム会議
9	9/3 安全対策委員会 9/10 衛生管理生活向上委員会 9/24 グループホーム会議
10	10/9 衛生管理生活向上委員会、10/1 安全対策委員会 10/20 出張美容、10/21 居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話 10/22 グループホーム会議
11	11/5 安全対策委員会、11/13 衛生管理生活向上委員会、11/12 消防設備点検 11/26 グループホーム会議 11/20 床ワックス全箇所
12	12/3 安全対策委員会、12/11 衛生管理生活向上委員会 12/15 出張美容 12/17 グループホーム会議
1	空床状況、すずかけニュース送付 1/7 安全対策委員会、1/13 衛生管理生活向上委員会 1/28 グループホーム会議
2	2/4 安全対策委員会、2/12 衛生管理生活向上委員会 2/17 出張美容 居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話
3	空床状況、すずかけニュース送付 3/4 安全対策委員会、3/8 グループホーム会議（2月分） 3/12 衛生管理生活向上委員会、3/14 防災訓練、3/25 グループホーム会議 居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話
備 考	不定期：居宅介護支援事業所、老健事業所、病院合計 42 ヶ所入居者空床、待機 情報案内書、すずかけ新聞郵送。 毎月郵送を行なう計画であったが職員都合により、不定期の郵送になってしまっ た。2ヶ月每位には郵送出来るよう努力して行きたい。



8. 利用者状況 <平成26度に関する以外は平成27年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況

定員9名 現在員8名(男性2名 女性6名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100 ~104	計
男性	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
女性	0	0	0	1	0	2	0	3	0	6
計	0	0	0	2	0	3	0	3	0	8

\*最高年齢 女性99歳5ヶ月

\*最若年齢 男性77歳6ヶ月

\*平均年齢 89歳7ヶ月

(3) 入所申込状況(入所検討委員会)

年月	件数	年月	件数
平成26年4月	0	10月	0
5月	0	11月	0
6月	1	12月	0
7月	0	平成27年1月	0
8月	1	2月	0
9月	0	3月	0

(4) 利用期間

利用期間	男	女	計
3ヵ月未満	0	0	0
6ヵ月未満	0	0	0
1年未満	0	2	2
2年未満	0	2	2
2年以上	2	2	4
計	2	6	8

(5) 月別利用者状況

年間利用率 97.5%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分別													
月初日利用者数 (在籍)A	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	107
月中新利用者数B	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月中退所者数C	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月中入院者数D	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末入院者数E	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	106
延べ利用者数	270	279	263	279	261	270	279	270	279	279	226	248	3,203

(6) 市町村別入退所者状況

市町村	平成 27 年 4 月 1 日現在			平成 26 年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	1	5	6	0	2	1	(院)(退) H27/2/4 (入) 6/25 (入) 8/20
熊谷市	0	1	1	0	0	1	(院)(退) 8/2
寄居町	1	0	1	7 3	0	1	(院) 4/6~6/17 (退) 6/17
計	2	6	8	7 3	2	3	

(7) 利用者の心身状況

日常生活動作

介助項目区分	自立	一部介助	全介助
移動介助	3	3	2
食事介助	6	2	0
排泄介助	1	4	3
入浴介助	2	3	3
着替え介助	2	5	1
体位交換介助	2	4	2

心身状況

認知症老人の 日常生活自立度	自立			a	b		a	b		M
	0	0	1	1	0	4	2	0	0	0

(8) 要介護度

\*平均介護度 3.3

要介護区分	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	1	1	0	0	0	2
女性	0	0	0	2	3	1	6
計	0	1	1	2	3	1	8

## 生計困難者に対する相談支援事業

### 1. 総評

平成26年9月1日より、「彩の国あんしんセーフティネット」事業が施行されました。予想を上回る相談件数があり、清風苑においても4件の相談を受け、1件終息し3件が継続している状況です。深谷市は埼玉県内でも特に相談件数の多い地域となっています。また、事業が開始され間もないことから、単に「お金がもらえる」と言った解釈で訪れる方も少なかつたようです。相談者の多くは、30代から50代の方で失業などが主な原因となっていますが、関わってみると表面的には失業ですが、生活困窮に至ってしまうまでの選択肢を間違ってしまう方や普段からの生活スタイルが原因となっている事が多いと感じました。

セーフティネットでの一時的な関わりの中で、生活への考え方や生活スタイルを改善して戴くよう関わっていく事は大変難しいと感じることが多々ありました。制度の狭間で支援の手が届かない方へ、次の制度に繋げるまでの支援が役割となりますが、簡単に支援してしまう事は相談者の自立に結びつかなくなる可能性もあるため、短期間であっても改善に繋がるような確かな支援となるよう関係各所と協力しながら社会福祉法人としての役割を果し、地域の方が安心して過ごせるよう努めていきます。

### 2. 相談状況（平成26年9月1日～平成27年3月31日）

#### (1) 年齢構成・相談件数

年 齢	人 数
20～30歳代	1
40～50歳代	2
60～70歳代	1
80歳～	0
合 計	4

#### (2) 紹介経路

紹 介 先	人 数
行政・社協・市町村	4
地域包括・医療・福祉施設・	0
民生委員・知人	0
本人	0
合 計	4

#### (3) 相談内容の主な特徴（重複あり）

特 徴	人 数
高齢	1
失業	3
児童	0
母子・寡婦	0
身体・知的・精神障害	1
DV・虐待	0
多重債務	1
傷病	1
その他	1

(4) 現物給付の主な内容(重複あり)

内 容	人 数
食材	1
光熱水費	1
居住関係	1
日用品費	0
交通費	0
医療費	0
介護サービス	0
その他	0

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 26.7.17・8.8・8.11・8.18 彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員養成研修  
(埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会 )
- 11.25 彩の国あんしんセーフティネット連絡会(深谷市社会福祉協議会 )
- 12.14 彩の国あんしんセーフティネット事業ブロック会議  
(埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会 )

## 事 務

### 1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護保険制度改正等の手続きを柱に取り組みを行ないました。具体的には前段の庶務事項や以下の事務処理となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

また、新体制による事務業務の遂行が安定してきました。

### 2. 業務目標

平成 26 年度に会計処理方法を指導指針から新会計基準へ移行が大きな支障もなく完了しました。

事業継続計画(BCP)については、法人全体の計画作成が終わり平成 27 年度より運用をかいしします。

### 3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 26. 4.18 施設長会議(県老施協: )
- 5.28 安全運転管理者講習(県安全運転管理者協会: )
- 6.11 定期総会・セミナー(県経営協: )
- 6.20 社会貢献セミナー(県社協: )
- 6.27 熊谷社会保険委員総会(寄居商工会: )
- 7.17、7.25、8.8、8.11、8.18 彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員養成(県社協: )
- 8.5、8.9、8.21、9.2、9.10、9.25、10.8、11.3 介護支援専門員更新研修(県社協: )
- 9.5、9.8、9.25、8.30 人事労務管理者研修(県社協: )
- 10. 9、10.10 施設長研修(県老施協: )
- 10.17 事務員研修(県老施協: )
- 11.19 年金委員研修会(日本年金機構熊谷年金事務所: )
- 11.10、11.19、11.21、11.26、11.27 平成 26 年度トップマネジメント研修(県社協: )
- 11.21 年末調整説明会(熊谷税務署: )
- 11.25 彩の国あんしんセーフティネット連絡会(県社協: )
- 12. 5 社会福祉法人役員・管理者研修(県老施協: )
- 12.18 社会福祉法人監査研修(県社協: )
- 12.24 彩の国あんしんセーフティネット事業ブロック会議・研修(県社協: )
- 27. 1.16 県北地区障害者雇用促進セミナー(ハローワーク: )
- 1.21 社会福祉法人役員・管理者研修～新会計基準の理解(県経営協: )
- 1.27 社会福祉法人管理者研修(埼玉県: )
- 1.29 第 2 回施設長会議(県老施協: )
- 2. 7 新会計基準対応版財務会計システム「決算準備編」(CIJ 東京本社: )
- 2.13 介護事業経営者セミナー(県社協: )
- 2.25 特別研修会(県社協: )
- 3.18 労働関係法令等説明会(県労働局: )

## 給 食

### 1. 総評

給食部の目標である「利用者に美味しく喜ばれる食事の提供」を実現するために、日々の献立を見直し新しいメニューを取り入れるようにしています。利用者の最大の楽しみは食事であると考えており、イベントの中でも「誕生会」では担当職員と打ち合わせをし、利用者の嗜好を重視し、季節感のあるメニューの提供を実施してきました。イベント時には、手作りのカードをお膳に添えて利用者様に変化を感じて頂くよう配慮しました。また(株)LEOC と協力し月に一度郷土料理を実施いたします。

委託職員の施設利用者への状況把握と協力を得て、利用者様に満足される食事の提供を実現しています。また、ノロウィルスや新型インフルエンザ等衛生管理に対する対策の徹底や、食材の管理など必要な対策を実施しています。さらに毎日の変化が激しい利用者状況に的確に対応するため、各部門と連携をとり業務を行っております。一人でも多く経口摂取をして頂く事を念頭に、残菜調査、嗜好調査、温食調査の実施もしています。専門業者による害虫駆除作業も実施し、美味しく安心な食事提供のため努力いたしました。

### 2. 業務内容

月	基 幹 業 務 内 容	調 査	会 議
4	利用者年齢構成表作成 納入業者の衛生教育及び食品搬入検査	嗜好調査	給食・厨房会議
5	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
6	食中毒予防強化 厨房内特別個所掃除及び機会器具の点検	温度湿度調査	〃
7	夏期利用者帰省の確認	残食調査	〃
8	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
9	行事食献立内容の研究	残食調査	〃
10	利用者年齢構成表確認	嗜好調査	〃
11	ノロウィルス、インフルエンザ感染症対策強化	残食調査	〃
12	年末年始利用者帰省の確認 納入業者年末年始休業確認	残食調査	〃
1	厨房内特別個所掃除及び機械器具の点検	温度調査	〃
2	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
3	食糧構成の検討 新年度業務計画の作成	残食調査	〃

### 3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

26.8.4 熊谷保健所管内給食施設研修会（熊谷保健所： ）